



リリースノート

バージョン:	15 Upgrade #3.4 WorkWithPlus for Web / WorkWithPlus for Native Mobile
更新日:	2024 年 8 月 28 日
互換性:	GeneXus 18 Upgrade U0 ~ U10



目次

WorkWithPlus 15 Upgrade #3	2
WorkWithPlus 15 Upgrade #3 のインストール	4
WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 への更新	4
WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #3 への更新	7
解消済みの問題 (v15 Upgrade #3)	10
解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.1)	10
解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.2)	11
解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.3)	12
解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.4)	13

WorkWithPlus 15 Upgrade #3

本書では、WorkWithPlus for Web および Native Mobile のバージョン 15 Upgrade #3 の機能の概要、および採用するにあたって考慮する必要のある事項について説明します。

最新のバージョン 15 Upgrade #3.4 は、2024 年 8 月 28 日にリリースされました。



ダウンロード

このバージョンは GeneXus Japan の[製品ダウンロード](#)ページからダウンロードできます。

概要

このアップグレードには、アプリケーションを作成するためのオプションを増やすために、[デザイン システム ウィザード](#)の新しいオプションとカスタマイズが含まれています。この新しいバージョンでは、ダイナミックフォームの作成、AI を活用したアプリケーションへの意図に基づくナビゲーションの追加などが可能になります。

新機能については、以下のリンク先を参照してください。

<https://docs.workwithplus.com/wiki?5061>

互換性

このバージョンは、GeneXus 18 Upgrade 0 以降のバージョンと互換性があります。

採用方法

WorkWithPlus for Web の環境の場合、「[WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 への更新](#)」で説明されている手順に従う必要があります。

WorkWithPlus for Native Mobile の環境の場合、「[WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #3 への更新](#)」で説明されている手順に従う必要があります。

詳細については、[クイック スタート ガイド](#)を参照してください。



WorkWithPlus 15 Upgrade #3 のインストール

ダウンロードとインストール

お使いの GeneXus バージョンに応じて GeneXus Japan の[製品ダウンロード](#)ページからセットアップをダウンロードし、手順に従ってセットアップを実行します。

ライセンスの有効化

初めて WorkWithPlus for Web をインストールする場合で、まだライセンスがインストールされていない場合は、お買い求めのパートナーまたは弊社まで WorkWithPlus for Web ライセンスの取得方法をお問い合わせください。

既に WorkWithPlus for Web のライセンスを所有していて、最新のメンテナンスを行っている場合には、ライセンスを更新する必要はありません。WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 をインストールするだけで、すぐに使用できるようになります。

既に WorkWithPlus for Web のライセンスを所有していて、最新のメンテナンスを行っていない場合には、お買い求めのパートナーまたは弊社まで WorkWithPlus for Web ライセンスのアップグレード方法をお問い合わせください。

ナレッジベースの変換

ナレッジベースを以前の WorkWithPlus バージョンから WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 に移行する予定がある場合は、次の「[WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 への更新](#)」を参照してください。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 への更新

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 をインストールすると、次のシナリオが可能になります。

既存のデザインシステムで WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 を使用する

このシナリオでは、WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 セットアップをインストールし、KB を開きます。これで、新しい機能を使用したり、通常どおりアプリを実行したりする準備が整いました。

WorkWithPlus を任意のオブジェクトに適用すると、WorkWithPlus はカスタマイズ（最後にデザイン システム ウィザードを実行するときに選択したもの）に従ってベースのデザインシステムを再インポートし、新しいテンプレートもインポートします。

「AI アシスタント」、「ダイナミックセクション」、「ダイナミック検証」などの、いくつかの機能は、デザイン システム ウィザードで設定する必要があります。

- 「ダイナミックセクション」または「ダイナミック検証」を有効にするには、これまでに「ダイナミック セクション モジュール」が含まれていなかった場合は、ステップ 5 (マスター ページ) の [ダイナミック フォーム モジュールを含める] オプションを有効にする必要があります。このプロパティを変更し、最後のステップに進んで必要なオブジェクトをインポートするだけです。
- 「AI アシスタント」を有効にするには、ステップ 5 (マスター ページ) にある対応するオプションをチェックする必要があります。このプロパティを変更し、最後のステップに進んで必要なオブジェクトをインポートするだけです。

常に回帰テストを実行して、各バージョン内で生成されたコードが同じであることを確認するために、画面を再度テストする必要はありません。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 を使用し、利用可能なデザインの 1 つを適用する

既に実行している KB で WorkWithPlus for Web を実行する場合、特定のシナリオで従うべき手順がいくつかあります。

「デザイン システム ウィザード」を実行して新しいデザイン システムを選択するか、現在のデザイン システムを選択して変更を加えると、WorkWithPlus はウィザードの前回の実行で行った変更に必要なオブジェクトのみをインポートします。また、WorkWithPlus 設定では、すべてのルール、自動条件、ラベル、オブジェクト名、テンプレートなどが維持されます。そのため、いくつかのシナリオが考えられます。

シナリオ 1: 既存のテンプレートを再インポートする必要はない

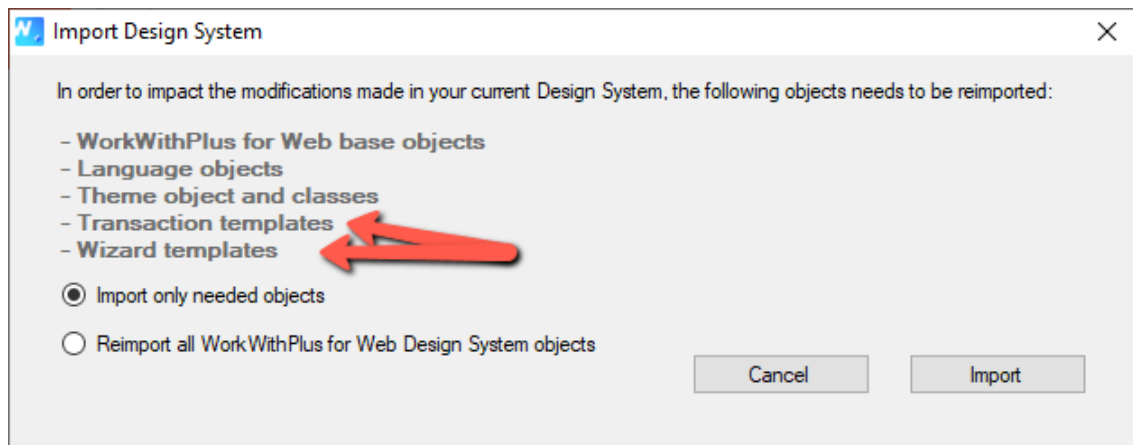
この場合、ウィザードを再実行する手順は次のとおりです。

1. デザイン システム ウィザードを実行し、任意のデザイン システムを選択して、必要なカスタマイズを行います。
2. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのパターンを適用」と選択します。

シナリオ 2: 既存のテンプレートを再インポートする必要がある

この場合、ウィザードを再実行する手順は次のとおりです。

1. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新済みとしてマーク」と選択します。
2. デザイン システム ウィザードを実行し、任意のデザイン システムを選択して、必要なカスタマイズを行います。ウィザードの最後の手順で、WorkWithPlus for Web が KB オブジェクトで使用しているテンプレートの一部（トランザクションテンプレート、リスト オブジェクト テンプレートなど）をインポートすることが表示されます。



3. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新」と選択します。
4. アプリケーションを実行します。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 を Theme オブジェクトとともに使用する (WorkWithPlus for Web 14 以前で作成されたテーマ)

このシナリオでは、WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 セットアップをインストールし、KB を開きます。これで、新しい機能を使用したり、通常どおりアプリを実行したりする準備が整いました。

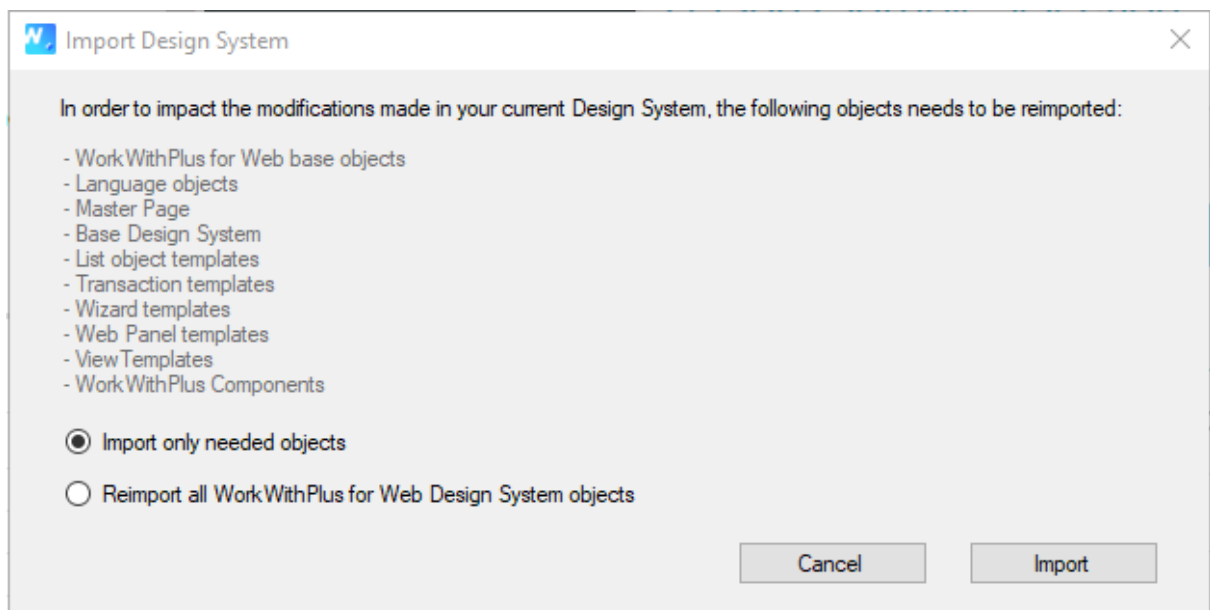
新しい WorkWithPlus コンポーネントと更新されたテンプレートは、Design System オブジェクトのクラスを使用するため、デザイン システム ウィザードを実行するまで適用されません。デザイン システム ウィザードを実行せずにコンポーネントを取得したい場合は、次の手順に従う必要があります：[「現在の KB 内のコンポーネントの影響」](#)

常に回帰テストを実行し、各バージョン内で生成されたコードが変わらないことを確認しています。そのため、再度画面をテストする必要はありません。

WorkWithPlus for Web 15 Upgrade #3 を使用して Design System オブジェクトに移行する

(WorkWithPlus for Web 14 を使用していたか、以前はデザインシステムに移行しなかったなどの理由により) Theme オブジェクトを使用して作業を続けており、Theme オブジェクトの代わりに Design System オブジェクトを使用して KB を作成したい場合は、次の手順に従う必要があります。

1. WorkWithPlus メニュー -> 「パターンインスタンス」 -> 「すべてのインスタンスを更新済みとしてマーク」と選択します。
2. デザイン システム ウィザードを実行し、現在のデザインシステムを選択して、最後のステップに進みます。WorkWithPlus は、再インポートするオブジェクトを表示します。



デザイン システム ウィザードの実行中にカスタマイズを行うことができます。その場合、他のオブジェクトがインポートされることがあります（これは、前に表示されるメッセージで指定されます）。

HTML からレスポンス Web デザインへの移行

ナレッジベースがまだ HTML で表示されている（レスポンスでない）場合は、次のリンクも参照することを強くお勧めします。

- [HTML とレスポンス Web デザインの主な違い](#)
- [WorkWithPlus を使用せずに WebPanel をレスポンス Web デザインに移行する](#)

WorkWithPlus for Native Mobile 15 Upgrade #3 への更新

WorkWithPlus for Web と Native Mobile で 15 Upgrade #3 をインストールすると、次のシナリオが可能になります。

WorkWithPlus for Web および Native Mobile 15 以前のアップグレードからの移行

WorkWithPlus for Native Mobile 15 (Upgrade #0 、 Upgrade #1 または Upgrade #2) を使用して作成されたナレッジベースから移行する場合は、次の操作を実行できます。

テンプレートを更新せずに、デザインとパネルを維持する

このシナリオでは、ナレッジベースで操作を実行する必要はありません。セットアッププログラムを実行して、通常どおり作業を続けるだけです。



テンプレートを更新しない場合、Work With テンプレートやアニメーションなどの一部の新機能が使用できなくなることを考慮してください。

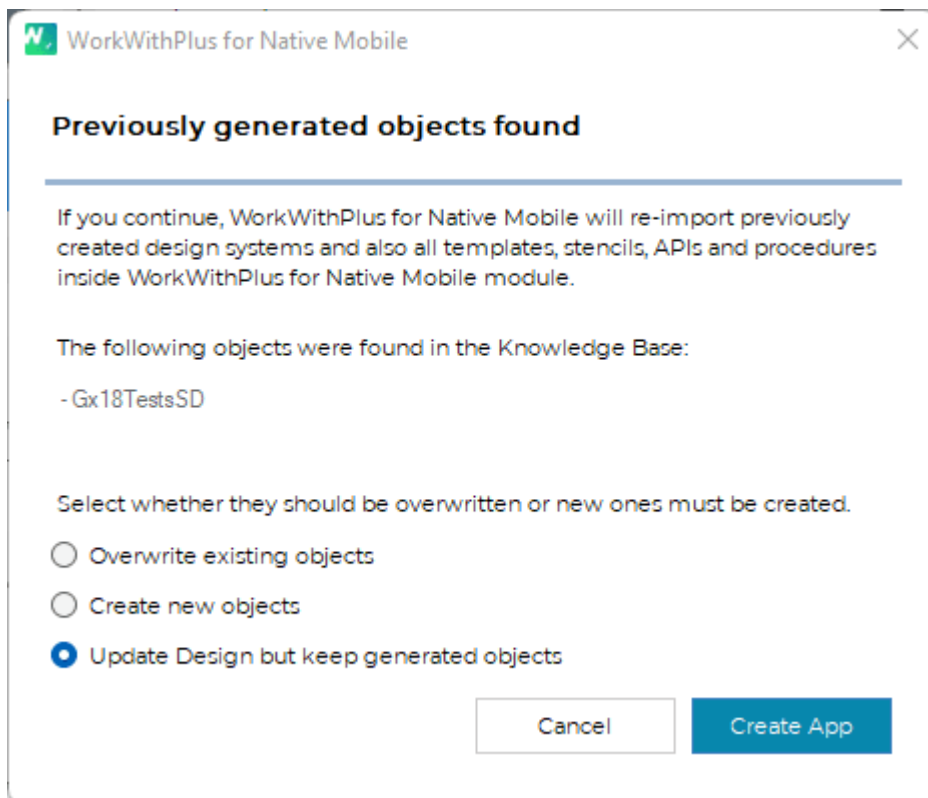
デザインとパネルは維持するが、すべてのテンプレートとベース デザイン システムを更新する

新しい機能（Work With テンプレートやアニメーションなど）の使用を開始するには、ナレッジベースのテンプレートとベースとなる API オブジェクトを更新する必要があります。

シナリオ 1: 変更を損なわずに更新する

テンプレートと API を更新するには、デザイン システム ウィザードを実行し、最初に選択したものと同じデザインを選択する必要があります。(例：E コマース)

WorkWithPlus は、KB 内に以前にオブジェクトを作成したことを通知するダイアログを表示します。ここで、**[既存のオブジェクトを変更せずにデザインのみを更新]**: オプションを選択する必要があります。



WorkWithPlus は次を実行します：

- すべてのテンプレートの更新
- 新しいテンプレートのインポート
- ベースとなるデザインシステムの再インポート（ベースのデザインシステムに変更を加える必要はありませんが、変更を加えた場合、変更は損なわれます）
- ベースのリソース（画像、フォント、API、サンプルプロシーチャーなど）の再インポート

このオプションを選択しても、生成されたオブジェクトは**変更されません**。

- ホームパネル
- メニューパネル
- ログインパネル
- ユーザー登録パネル
- ユーザー デザイン システム

つまり、上記のオブジェクトを変更していない限り、最初のデザインシステムの実行後に適用したオブジェクトやデザインのカスタマイズは失われません。

シナリオ 2: 生成されたオブジェクトを更新および上書きする

オプションとして、代わりに「既存のオブジェクトを上書き」オプションを選択できます。

これにより、必要なすべてのオブジェクトが更新されます（上記のオプションと同様）。

ただし、次のオブジェクトは上書きされます（選択されている場合）。

- ホームパネル
- メニューパネル
- ログインパネル
- ユーザー登録パネル

このオプションを使用すると、テンプレートを変更したり、上記のオブジェクトを元の状態に復元したりできます。

古いバージョンまたは外部デザインからの移行

古いバージョンまたは外部デザイン（WorkWithPlus で作成されていないデザイン）から移行する場合は、次のいずれかを行うことができます。

テンプレートを使用せずに、デザインとパネルを維持する

このシナリオでは、デザイン システム ウィザードを実行し、[デザインをスキップ] オプションを選択する必要があります。

これにより、階層エディターと基本機能を使用するために必要な最小限の API とオブジェクトがインポートされます。

テンプレートおよびデザインを更新しない場合、テンプレート、アニメーションおよびフォントアイコンなどの一部の新機能が使用できなくなることを考慮してください。

デザイン システム ウィザードを使用して新しいアプリケーションを作成し、変更内容を移行する

すべての機能を使用するには、デザイン システム ウィザードを使用して新しいアプリケーションを作成する必要があります。

現在のデザインに最適なデザインを選択し、ウィザードに従ってください。

アプリケーションが作成されたら、テーマの変更を新しいデザインシステムに手動で移行する必要があります。



解消済みの問題 (v15 Upgrade #3)

リリース日: 2024 年 6 月 28 日

既定値を持つフィルタのページネーションバーの適用されたフィルタテキストの問題

[Issue 13027](#)

カスタマイズされた既定値を持つフィルタを含む List オブジェクトがある場合、ユーザーがその値を空に変更しても、ページネーションバーの適用されたフィルタのテキストには常にそのフィルタが表示されます。

複数のビューを持つ List オブジェクトに含まれる [Security Functionality Key] プロパティの設定が「メタデータに反映」のプロセスでは考慮されない問題

[Issue 13064](#)

複数のビューを持つ List オブジェクトがあり、グリッド内にアクションの [Security Functionality Key] プロパティが設定されている場合、キーは「メタデータに反映」のプロセスによって "SecGAMGetAdvancedSecurityWWPFunctionalities" データプロバイダーに追加されていませんでした。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.1)

リリース日: 2024 年 8 月 8 日

AI アシスタントの問題

[Issue 13072](#)

WorkWithPlus AI アシスタントを使用した場合に検出された次のような問題が解決しました：

- エンドユーザーが今年に関する質問をすると、AI アシスタントがその情報をグラフに表示する際に間違った年の情報が表示されていました。
- Java アプリケーションの生成中にエラーが発生し、エンドユーザーが質問した内容に対して、AI アシスタントは回答を表示するためにリストを並べ替える必要がありました。

デザイン システム ウィザードにおけるカスタムカラー選択の問題

[Issue 13073](#)

デザイン システム ウィザードでカスタムカラーを選択し、他のカスタマイズを変更して、カスタマイズをインポートすると、エラーが発生し、GeneXus が異常終了していました。



インスタンスの更新プロセスと複数のレイアウトを含むフリー スタイル グリッドに関する問題

[Issue 13074](#)

複数のレイアウトを持つフリー スタイル グリッドのある Web パネルで「インスタンスの更新」のプロセスが正しく実行されていませんでした。

List オブジェクトにおける AI の意図に基づく検索例の問題

[Issue 13075](#)

List オブジェクトに対して StandardAction (NaturalLanguageQuery) を開くと、別の List オブジェクトの例が表示されていました。

解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.2)

リリース日:2024 年 8 月 20 日

"Title Filter"="False"に設定されている際の AI アシスタントにおけるフィルタ処理可能な列挙型ドメインの問題

[Issue 13080](#)

AI アシスタントが有効になっているリストがあり、"Title Filter"="False" に設定されているときに、AI アシスタントでフィルタ処理可能な列挙型ドメインに基づく項目属性が含まれている場合、フィルタが含まれていませんでした。

パラメーターとして項目属性を使用したリストにおける AI の意図に基づくナビゲーションの問題

[Issue 13076](#)

AI の意図に基づくナビゲーションを有効にした List オブジェクトがあり、パラメーターとして項目属性を受け取る場合、パターンを適用すると次のエラーが表示されました：

error src0304: "LoadGridStateFrom" is an undefined subroutine. (Procedure '<TrnName>WWAIData'
Source (by WorkWithPlus), Line: -64, Char: 6, Details)



解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.3)

リリース日:2024 年 8 月 21 日

GeneXus モジュール内のトランザクションの AI モジュールチャート生成時の問題

[Issue 13083](#)

GeneXus モジュール内のトランザクションで WorkWithPlus AI アシスタントが有効になっている場合、AI アシスタントを使用してチャートを生成するとエラーが発生していました。

直前の要素 (ControlValueChanged) の日付選択コントロールからフォーカスを解除した場合の問題

[Issue 13079](#)

3 つの編集可能な要素 (element_1、element_date、および element_3) を含むフォームがあり、element_1 の ControlValueChanged イベントでフォーカスが element_3 に設定されている場合 (element_date からフォーカス解除)、element_date の日付選択コントロールは開いたままでした。



解消済みの問題 (v15 Upgrade #3.4)

リリース日:2024 年 8 月 28 日

多くのトランザクションで「AI アシスタント」を有効にしている場合の問題

[Issue 13085](#)

多くのトランザクションで WorkWithPlus AI アシスタントを有効にしている場合、何かを要求すると次のようなエラーが表示されていました：

クエリの処理中にエラーが発生しました

Web パネルの Advanced Security の [Security Functionality Key] プロパティを変更して閉じた場合に発生する問題

[Issue 13087](#)

ナレッジベースのセキュリティが「Advance Security (legacy)」の場合、開発者が Web パネルの [Security Functionality Key] プロパティを更新し、その直後に Web パネルを閉じると、次のエラーが表示されていました：

呼び出しのターゲットによって例外がスローされました (mscorlib)

Java でのアクセント付きの値による AI アシスタントのフィルタリングの問題

[Issue 13088](#)

Java 環境のナレッジベースで WorkWithPlus AI アシスタントを有効にし、アクセントのある単語で一部のデータをフィルタリングするように要求すると、正しく機能しませんでした。

デザイン システム ウィザードの Autolink 設定の問題

[Issue 13086](#)

デザイン システム ウィザードを実行し、ステップ 9 で [Autolink の追加 (名称項目属性のリンク)] をチェックすると、ユーザーがステップ 10 を変更して、ステップ 9 に戻った場合にこの設定が無効になっていました。

ナレッジベースのセキュリティが「Advanced Security (legacy)」で通知が設定されている場合に「セキュリティ オブジェクト コードの更新」を実行すると発生する問題

[Issue 13089](#)

ナレッジベースのセキュリティが「Advanced Security (legacy)」で、Notification の [Security Functionality Key] プロパティの値が指定されている場合、「セキュリティ オブジェクト コードの更新」を実行すると、次のエラーが表示されます：

Updating Data Provider 'SecGetAdvancedSecurityWWPFunctionalities'...Failed

error: An error occurred while updating the Functionalities List Data Provider

error src0098: Invalid expression after value: expecting 'if' condition.

(Data Provider 'SecGetAdvancedSecurityWWPFunctionalities' ...)